

環境経営レポート

株式会社グローリー

2023 年度

(対象期間：2023 年4月1日～ 2024 年3月31日)



ISO 9001:2015 認証取得



作成日：2024年6月26日

更新日：2025年2月13日

目 次

	ページ
1. 環境経営方針	3
2. 組織の概要	4
3. 事業・製品の紹介	4
4. 環境経営組織図及び役割・責任・権限表	5
5. 主な環境負荷の実績	6
6. 環境経営目標及びその実績	7
7. 環境経営計画の取組結果とその評価	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟等の有無	9
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	9

1. 環境経営方針

株式会社グローリー 環境経営方針

《基本理念》

私たちは機械加工を通して、顧客に提供するすべての事業活動において環境に影響する項目があることを認識し、EA21環境経営システムに基づいた『環境マネジメントシステム（EMS）』を構築しEMSの維持と継続的改善を図り、顧客や地域から信頼される企業としてより地球環境に優しい環境改善活動を展開します。

また、より効率的な人員配置をする為に、多能工の育成を強化し、人材教育に注力します。
特定の業界に偏らず幅広い分野の顧客獲得の為に積極的に行動します。

《行動指針》

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 電力、自動車、ガス使用による二酸化炭素排出量の削減。
3. 廃棄物排出量の削減。
4. 水使用量の削減
5. 事務用品のグリーン購入推進。
6. 当社が生産する製品の環境負荷の低減（不良品の削減）。
7. 有害な化学物質の削減

制定日：2017年4月1日

最終更新日：2019年4月1日

代表取締役社長 **小林秀典**

2. 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社グローリー
代表取締役社長 小林 秀典
 - (2) 所在地
長野県上伊那郡南箕輪村的射場8587
 - (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者 取締役 常務
環境事務局 環境事務局担当者
TEL : 0265-73-9324 FAX : 0265-73-2865
URL: <https://www.kk-glory.co.jp>
 - (4) 事業内容
産業用ロボット・半導体製造装置関連の部品加工、ユニット組立
 - (5) 事業の規模
資本金：1500万円
従業員：31名
延べ床面積：3,257㎡
 - (6) 事業年度
4月1日～3月31日
- 認証・登録の対象組織・活動
全組織での活動

3. 事業・製品の紹介

創業以来、半導体、液晶製造装置部品を中心に

複雑で高精度な加工品にチャレンジし続けてまいりました

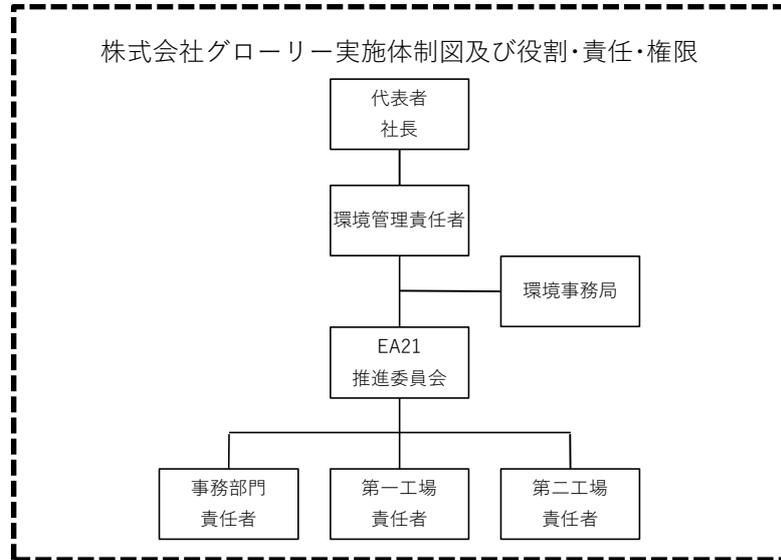
そこで培われた「技術力」は国家技能検定保有率90%以上という数字に表れています

大物、鋳物、高精度、複雑形状の加工品はグローリーにお任せください



4. 環境経営組織及び役割・責任・権限

作成者： 小林秀典
最終更新日： 2024年2月1日

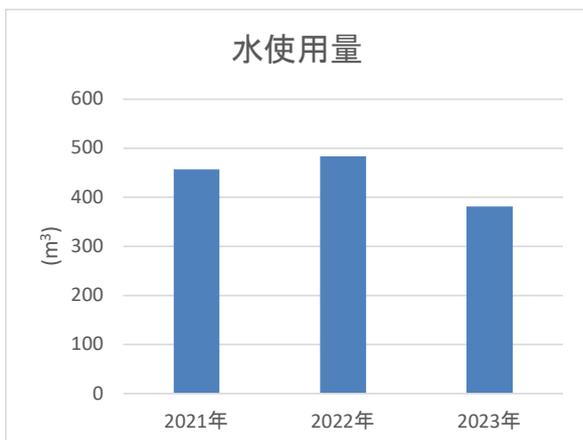
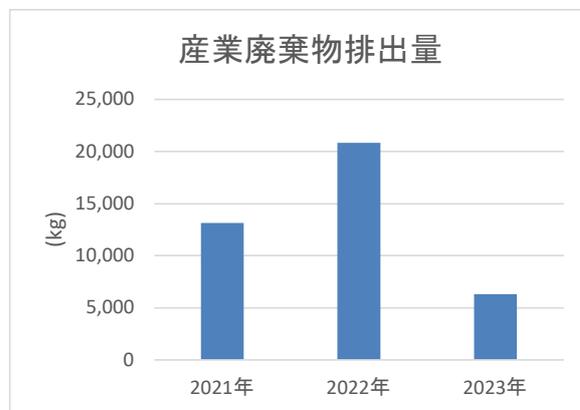
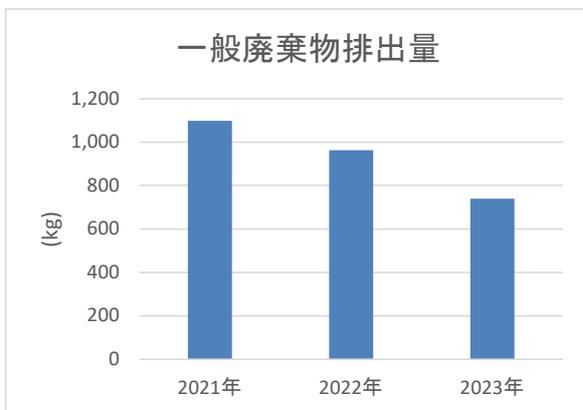
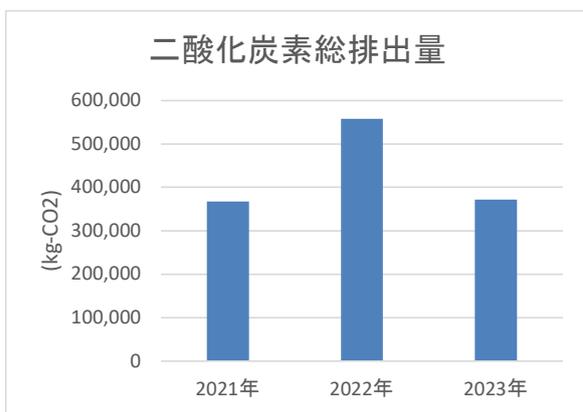


	役割・責任・権限
代表者（社長）	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境事務局	環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
EA21推進委員会	環境活動計画の審議 環境活動実績の確認・評価
部門長	自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	367,137	558,196	371,518
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	1,098	962	740
産業廃棄物排出量	kg	13,140	20,825	6,307
水使用量	m ³	457	483	381

※電力の二酸化炭素排出係数は2022年度中部電力ミライズ(株)の調整後排出係数0.459(kg-CO₂/kWh)を使用



6. 環境経営目標及びその実績

□環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準年 (2022年)	2023年		評価	2024年	2025年
			(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO2	465,292	462,965	268,398	○	460,639	458,312
	基準年度比		99.5%	57.7%		99.0%	98.5%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO2	74,045	73,675	86,850	×	73,305	72,934
	基準年度比		99.5%	117.3%		99.0%	98.5%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO2	18,860	18,766	16,270	○	18,671	18,577
	基準年度比		99.5%	86.3%		99.0%	98.5%
二酸化炭素排出量合計 原単位	kg-CO2	558,196	555,405	371,518	○	552,614	549,823
	kg-CO2/万円	12.75	12.69	10.02		-	-
一般廃棄物の削減	kg	962	957	740	○	952	948
	基準年度比		99.5%	76.9%		99.0%	98.5%
産業廃棄物の削減	kg	20,825	20,721	6,307	○	20,617	20,513
	基準年度比		99.5%	30.3%		99.0%	98.5%
水使用量の削減	m ³	483	481	381	○	478	476
	基準年度比		99.5%	78.9%		99.0%	98.5%
化学物質の管理	kg	432	432	320	○	432	432
	基準年度比		100%	74%		100%	100%
製品への環境配慮	対売上Fコスト比率(%)	0.571	0.568	0.672	×	0.6	0.563
	基準年度比		99.5%	117.6%		99.0%	98.5%

7. 環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標：○達成 ×未達成

活動：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】 使用量は基準年より大幅に削減出来ている。待機電力と消費電力の見える化については取組み等まだまだ課題が残る 【次年度の取組】 ・待機・消費電力の見える化、節電の取組み強化
原単位目標	○	
・空調温度の適正化(維持・改善)	○	
・ブラインド、カーテン利用で熱出入り調整(維持)	○	
・不使用機械の電源を切る(維持)	△	

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】 特に下期の使用量が多い。 冬季の温度管理が課題 【次年度の取組】 ・エアコン使用時の温度管理徹底
原単位目標	×	
・空調温度の適正化(維持・改善)	○	
・ブラインド、カーテン利用で熱出入り調整(維持)	○	

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】年間累計では目標達成したが、使用量は増加傾向である 【次年度の取組】 ・効率的なルート配送等の継続
・アイドリングストップ（維持）	○	
・効率的なルートで配送（維持・改善）	○	

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】年間で30%の削減となり、ペーパーレス化の効果と考えられる 【次年度の取組】 ・ペーパーレス化、分別の徹底
・分別の徹底（維持・改善）	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減（維持・改善）	◎	
・iPad使用によるペーパーレス化推進（維持・改善）	◎	

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】プラは基準年比約30%の削減、廃油も大幅な削減となった 【次年度の取組】 ・分別、リユースの徹底
・分別の徹底（維持・改善）	○	
・梱包材の再利用(維持・改善)	○	

水使用量の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】基準年に比べ25%以上の削減となったが、加工製品に因るものと考えられる 【次年度の取組】 ・節水の取組み継続
・節水の呼びかけ（維持）	○	

化学物質の管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	○	【評価】適正利用できている 【次年度の取組】 ・適正使用の継続
・容器の蓋の徹底（維持）	○	
・使用量の適正化（維持）	○	
・作業ミスによる使用量増加の抑制（維持・改善）	○	

製品への環境配慮	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
数値目標	×	【評価】再発防止ミーティング等実施するも目標を大幅に上回っている 【次年度の取組】 ・チェックシートの導入 ・社内講習会の実施
・指差呼称の実施（維持・改善）	○	
・工程内検査の確実な実施（維持・改善）	△	
・QAミーティング実施による不良削減（改善）	△	
・製造工程の見直しによる付加価値の増加（改善）	△	
・生産計画作成による加工スケジュールの明確化（改善）	○	
・iPad使用による生産性向上と業務効率化（改善）	○	

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価

遵守評価実施日：2024年4月1日 実施者：中西かおり

法規制等の名称	該当する要求事項	該当する設備・項目	遵守評価
廃棄物処理法	委託基準/保管基準/マニフェスト等	産業廃棄物	○
騒音規制法	特定施設の届出	コンプレッサー	○
振動規制法	特定施設の届出	コンプレッサー	○
水質汚濁防止法	油等の事故時の処置	廃油タンク	○
フロン排出抑制法	簡易点検・定期点検等	エアコン	○

※違反、訴訟等の有無

環境関連法規については、遵守状況を確認した結果、法令違反はありませんでした。
また外部・近隣住民からの苦情、訴訟、行政指導は過去3年間ありません。

9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年4月1日

環境活動の継続性が見られる。

従業員に意識づけを実施する為、主要機械の待機電力、稼働時電力を測定し、金額化したものを見える化し節電に対する意識改革を実施。下期からの大幅な受注減により効果の検証は単純比較はできないものの、前期に対して消費電力は大幅に引き下げることができた。加工時間の短縮でさらに消費電力の削減を目指す。

環境経営方針	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
環境経営目標・計画	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり
実施体制他	<input checked="" type="checkbox"/> 変更なし	<input type="checkbox"/> 変更あり